

# 中札内より元気いっぱい!

北海道中札内高等養護学校 校長室より

第36号

令和5年3月6日(月)

## 38 回生 ご卒業おめでとう

中札内本校の卒業式が、3月4日に無事挙行されました。

練習を重ねるたびに、生徒たちの表情や発言が変わっていく姿をみて、“動き”を覚えるだけではなく、卒業式に向けた気持ちが育っていくのを感じました。確実に気持ちを高めている卒業生と在校生は、卒業式のもつ意味を理解しながら、自分自身の成長と次年度への目標をもった一週間になったことでしょう。

来賓でいらしてくださった森田匡彦村長から、「村に貢献してくれた卒業生でした」「本当によい式でした」と温かい言葉をいただきました。援護会の杉江茂会長も「式が開催できてよかった」と卒業生の晴れ舞台を直接見届けた喜びを話されていました。河瀬智憲 PTA 会長からは「誰かに相談することの大切さ」についてお言葉をいただきました。

臨時休業から始まった学校生活で、生徒が感じる不安や苦労は多かったと思います。しかし、卒業式の生徒の姿を見て、いつも通りではない状況の中で、自分たちで作り上げる必要があった新しい学校生活だったからこそ成長できたことも多かったのではないかと実感しています。

卒業生の皆さん、よく頑張ったね。本当におめでとうございます!



## 中札内村で表彰を受けました

令和4年度、中札内高養のサッカー部と3年普通科の松本愁也さんが、中札内村で表彰を受けました。

中札内村表彰を受けたサッカー部は「第1回全国特別支援学校フットサル大会」での活躍が認められました。

文化等表彰を受けた松本さんは、「令和4年度全国特別支援学校文化祭 写真部門」で北海道代表に選ばれたことが認められたものです。これまでの努力が認められ、本当によかったですね。おめでとうございます。

